

平成23年 6月24日

川崎市議会議長 大島 明 様

中原区在住者

ほか 1名

川崎市平和館の展示などについての請願

請願の要旨

核軍縮と核廃絶が世界の課題として浮上している今日、またかつての戦争に関する新たな資料が発掘されてきている現在「川崎市平和館」の展示・研究などがそれに応じきれているかどうか、議会の担当委員会としてまたは各会派の議員で、平和館運営委員会と共同で調査・考察してください。

請願の理由

- 1 「川崎市平和館」は平成4年（1992年）に「平和を希求する市民相互の平和活動を推進する」ことなどを目的に設立され、既に出された「核兵器廃絶平和都市宣言」とあいまって、当時の「基本構想」にあった「平和都市」づくりの柱をなすものでした。しかし、運営委員会の企画要請にこたえたり、研究活動を維持するにふさわしい予算が当初から不足していました。それもあって、展示・閲覧施設の更新もままならないまま推移してきました。
- 2 その上で、昨今の平和に関する状況を見ると、非核・反核の世界の世論と政治の潮流は大きなうねりとなっており、国内でも「戦争の記憶・記録」を残そう・掘り起こそうという放送・報道がかつてなく盛んになっています。開館後19年を経た平和館の研究（掘り起こし）作業は活動しているのか、展示・閲覧は新しい掘り起こしの成果を組み入れているのか、点検してみる必要があると思います。

- 3 また、旧日本軍遺跡を利用した「明治大学平和教育登戸研究所資料館」が保存・研究の成果として昨年開館しました。「川崎市平和館」が資料館と連携して、戦争の事実を伝えていく働きをすることが求められているのではないのでしょうか。
- 4 なお、言うまでもありませんが、「平和」は多くの市民の希求するものです。市平和館条例がうたっている「平和運動の推進」などの目的を阻んだり、ねじ曲げたりすることがあってはなりません。それゆえ、担当常任委員会か各会派（無所属を含む）議員での偏らない対応をお願いします。

紹介議員

齊 藤 隆 司